

3. 技術普及指導

指 導 内 容	依 頼 者	担 当
可燃性天然ガス付随井戸における口元状況の確認（札幌市南区常盤温泉）	北海道保健福祉部医務薬務課長	藤本 和徳
「函館市湯川温泉における温泉資源適正開発利用に関する研究」に係る詳細な説明および技術指導	函館市公営企業管理者水道局長	高橋 徹哉
札幌地区源泉実態調査に係る技術指導	北海道保健福祉部医務薬務課長	高橋 徹哉 柴田 智郎
休止している温泉施設（ユーパロの湯）の泉源の管理方法や適正利用に関する技術指導	夕張市長	高橋 徹哉 鈴木 隆広
2007 移動博物館関連講座での講師	北海道開拓記念館長	川上源太郎
第 40 回北海道粉体技術研究会での講師	北海道粉体技術研究会長	八幡 正弘
「函館市湯川温泉における温泉資源適正開発利用に関する研究」に関する地元関係者説明会へのオブザーバー参加	函館市公営企業管理者水道局長，湯川温泉源泉保護会長	高橋 徹哉
札幌市内における温泉施設の事故予防に係る関係係長会議への参加	札幌市保健福祉局医務監（保健所長）	高橋 徹哉
天然ゼオライト資源に関する技術支援	上士幌町長	八幡 正弘
現地見学会での講師	社団法人建設コンサルタンツ協会ダム発電専門委員会ダム地質分科会代表幹事	広瀬 亘
北斗市不法投棄容疑現場での実地調査	北海道環境生活部環境局循環型社会推進課長	遠藤 祐司 高見 雅三
礼文町温泉開発事業に係る技術指導（講演含む）	礼文町長	高橋 徹哉 高清水康博 田近 淳 柴田 智郎 藤本 和徳
北海道立理科教育センター特別研修講座での講師	北海道立理科教育センター長	荻野 激
現地見学会での講師	社団法人地すべり学会北海道支部長，北海道地すべり学会長，日本応用地質学会北海道支部長，北海道応用地質研究会長	石丸 聡
技術 e-フォーラム札幌での講師	日本応用地質学会北海道支部長	藤本 和徳 大津 直
日本地質学会第 114 年学術大会見学旅行への職員派遣	日本地質学会第 114 年学術大会準備委員長	岡 孝雄 田近 淳 大津 直 川上源太郎 高橋 良
第 4 回ビズ・サイエンスカフェおたるでの講師	ビズ・サイエンスカフェおたる事務局長	大澤 賢人
第 1 回産業連・土壌汚染研究会での講師	産業技術連携推進会議環境・エネルギー一部会地圏環境分科会・土壌汚染研究会会長	垣原 康之

指 導 内 容	依 頼 者	担 当
小学校理科授業での講師	札幌市立平岸小学校長	岡崎 紀俊 鈴木 隆広 柴田 智郎 垣原 康之 高清水 康博 村山 泰司 広瀬 亘 荻野 激 石丸 聡 小澤 聡
利尻山登山道の路線検討に関する技術指導	北海道森林管理局国有林野管理課長	田近 淳
第 15 回北海道地区セミナー2007 での講師	日本セラミックス協会北海道地区セミナー実行委員会会長	八幡 正弘
2007 年度日本気象学会秋季大会でのサロマ湖の気象・海象等に関する講師	日本気象予報士会長	木戸 和男
活断層に関する調査方法と評価方法に関する助言	千歳市長	大津 直
第 1 回産業技術連携推進会議知的基盤部会での講師	独立行政法人産業技術総合研究所地質調査情報センター長	大津 直
職場研修会での講師	北海道中小企業団体中央会長	田近 淳
忠類ナウマン象産出地点の地質調査	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所長	大津 直 広瀬 亘
訪問学習に対する受け入れ及び講師	南幌中学校長	高橋 徹哉 岡 孝雄
士幌川改修工事現場で発生した酸性水湧出に係る現地調査及び技術指導	帯広土木現業所所長	遠藤 祐司
活断層フォーラム in 富良野での講師	北海道総務部危機対策局長	大津 直
土壁の凍結・融解劣化に係る技術指導	東北芸術工科大学学長，文化財保存修復研究センター長	高見 雅三
「函館市及び周辺地域における温泉資源の適正管理に関する研究」における温泉資源の現況等について講師	市立函館保健所長	柴田 智郎 高橋 徹哉
第 2 回カラー骨材塗装小委員会での講師	北海道土木技術会舗装研究委員会委員長	垣原 康之
平成 19 年度第 2 回鉱害環境情報交換会での講師	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構鉱害防止支援部長	荻野 激
栗山町クロム汚染対策関係打合せ会議への出席	北海道空知支庁長	遠藤 祐司
博物館講座「大地が語る十勝の自然史」での講師	帯広百年記念館長	岡 孝雄
北海道廃棄物不法処理対策連絡会議での講師	北海道環境生活部長	高見 雅三
温泉排水熱を利用したエネルギー利用効率向上事業竣工基調講演会での講師	洞爺湖温泉利用協同組合・洞爺湖町	藤本 和徳
上湧別町環境保全対策推進検討会での調査結果概要報告	上湧別町長	丸谷 薫 高清水 康博

術普及指導一覧表

依頼者	件数	対象	件数
国	1	地熱・温泉	10
道	9	地質・防災	9
市町村	12	地下水	1
大学	1	資源・鉱山	4
その他	15	その他	14
計	38	計	38

4. 技術相談

平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

項目	相談者									
	国	道	市町村	協 公 会 社 会 団	報 道 機 関	関 連 企 業	教 官	学 生	一 般	計
1. 一般地質			2			2	1		3	8
2. 地震・火山	1	1	6		5	1			8	22
3. 地熱・温泉	2	11	10		1	50				74
4. 海 洋	2				3			1	1	7
5. 地 下 水		7	1	2	2	15	1			28
6. 岩石・鉱物		6	1		3	15			10	35
7. 化 石							2			2
8. 応用地質		1				1				2
9. 地すべり・崩壊				1		1				2
10. 地盤地質		1			1	1		1	1	5
11. 石 炭										0
12. 石油・天然ガス		1								1
13. 骨材資源						2				2
14. そ の 他	2	6	1			8	2			21
計	7	34	21	3	15	96	6	2	23	209